

『慶應義塾大学大学院法学研究科論文集』 投稿規程

(2024 年 4 月改訂)

法学研究編集委員会

1. 投稿資格

原則として本塾大学院法学研究科修士課程以上の在學生、修士の学位を有する者、および後期博士課程単位取得退學者とする。研究生は、修士の学位を有する者に限る。

2. 著作権

掲載された論文の著作権は、法学研究編集委員会に帰属する。ただし、著者は当該論文を自由に利用（転載・複製・翻訳・翻案等）することができる。利用にあたっては、書面にて事前に慶應義塾大学法学研究会に連絡すること。

3. 原稿内容

法律学、政治学、社会学に関する学術論文。

なお、投稿論文は単独執筆のものに限る。また、既発表のもの（既に投稿ないし掲載予定のものも同じ）は、投稿することができない。使用言語は原則として日本語とする。

4. 原稿分量

- ① 原則として総字数を 4 万字程度とする。
- ② A 4 用紙に 1 行 40 字の 1 頁 30 行とする（注を含める）。図および表は、1 点あたり 10 行分（400 字相当）に換算する。
- ③ 投稿者は、原稿提出時に総字数を申告すること。

5. 応募・論文提出・刊行期日

（具体的期日は、各号の募集要項において指示する）

応募期日： 2 月第 3 金曜日頃

提出期日： 3 月第 4 金曜日頃（著者校正は 1 回のみ）

刊行期日： 7 月頃

6. 提出方法

① 応募

次の書類を付して、封筒に入れ、慶應義塾大学法学研究会編集室（後記 8.）へ郵送すること。

- ・応募用紙（所定用紙）
- ・指導教員の応募推薦状（所定用紙）
- ・論文要旨（1000 字程度）（別紙添付）

② 論文提出

本論文 1 部（ワードプロセッサで作成し、打ち出したもの。散逸しないようにホチキス等で綴じること）と、論文ファイルを保存した電子記憶媒体に次の書類を付して、封筒に入れ、慶應義塾大学法学研究会編集室（後記 8.）宛てに郵送、または持参すること。提出期日必着。なお、提出論文および電子記憶媒体は返却しない。

- ・提出用紙（所定用紙）
- ・指導教員の提出推薦状（所定用紙）
- ・論文要旨（2000 字程度）（別紙添付）
- ・公衆送信等利用許諾確認書（所定用紙）

7. 注意事項

- ① 提出論文は、本塾大学院在籍者として相応しい内容と水準をもつこと。
- ② 日本語として正確・適切な表現であるかをチェックすること。誤字脱字のないよう、また表記が論文の中で不統一にならないよう、細心の注意を払うこと。
- ③ 論文提出前に必ず指導教授の校閲を受け、所定の推薦状の交付を受けること。
- ④ 執筆要領を遵守すること。

8. 論文提出場所（郵送先）

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
慶應義塾大学法学研究会編集室

9. 問い合わせ先

問い合わせは、電子メールで次のアドレス宛てに行うこと。
hoken@law.keio.ac.jp

10. 執筆要領

① 論 題

- ・論題、氏名、および在籍大学院名、課程、学年を書くこと。

② 目 次

- ・用紙を改め、章・節相当の見出し（下記③参照）のみを記すこと。

③ 本 文

- ・用紙を改めて書き出すこと。
- ・見出しには、第、章、節等の文字を使用せず、以下の見出し番号を用いること。

章 一、二、三 ……

節 (一)、(二)、(三) ……

項 1、2、3 ……

目 (1)、(2)、(3) ……

- ・見出し番号と見出し文字との間は1字空けること（点は付けない）。本文における章、節相当の見出しの前後は1行空けること。
- ・引用文は、引用文であることを明示するため、鉤括弧でくくすること。長文の引用の場合は、独立した段落とすることが望ましい。その際には、本文よりも1字下げて書くこと（括弧は不要）。
- ・ワープロソフトは「マイクロソフト・ワード」を使用すること。
- ・和文は等幅フォントの全角、欧文は等幅フォントの半角を用いること。
サイズは11ポイントとすること。

④ 注

- ・注は文末注とし、本文末尾に一括して掲げること。
- ・番号は全体を通し番号とすること。
- ・注のフォントも本文と同じものを用い、サイズは11ポイントとすること。
- ・ワープロソフトの注機能を使用しない場合、注番号の体裁は（1）とすること。

⑤ 図 表

- ・図および表の原稿は、本文原稿とは別にし、組み込み箇所を本文原稿中の希望箇所上部に「表1 入る」という形で指示すること（ただし、組み上がりの体裁上、必ずしも指示通りにいかない場合がある）。
- ・図および表は、1点ごとに1枚に書くこと。
- ・図の見出しには「図1、図2……」、表の見出しには「表1、表2……」という形の見出し番号を付すこと。

⑥ その他

- ・ 本文および注原稿全体を通して、通し番号（頁数）を付すこと。
- ・ 図および表の原稿は別に綴じ、本文および注原稿からの通し番号を付すこと。
- ・ 提出原稿は横組みとする。なお、本誌は原則として掲載時には横組みであるが、論文の性質上、縦組みの掲載を希望する場合は、応募時に申請すること。